

(様式6-3)

研修等 報告書

30年 5 月 1 日

三田市議会議長

今北 義明 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	無会派	代表者	印
		議員名	
参加者氏名	小山裕久		
講演会等研修名	元地方議員による特別研修会		
研修事項	・キラリと光る質問原稿の書き方 ・政策提案質問の事例		
日 時	30年 4 月 27 日 (金曜日)		
場 所	名古屋市中村区名駅3丁目16-22		
所 見	別紙に記載		
添付資料	・ 「キラリと光る質問原稿の書き方」冊子 ・ 「政策提言質問の事例」冊子 ・ 当日の写真 ・		

添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

平成30年4月27日（金曜日）の研修に参加いたしましたので、以下所見を述べさせていただきます。

小山裕久

一期目の議員として、市民の皆さまが求めている事を把握し、それに対してしっかりと、議員として質問の効果を上げる必要があると感じたため研修に参加してまいりました。

講師の宮本氏は27歳より5期20年議員在任された後、12の選挙対策本部で事務長を務められた政治のプロフィールをお持ちだけでなく、大阪市立大学大学院医学研究科にて医学博士号を取得された経歴から、表題のキラリと光る質問原稿の書き方から、政治家として必要である脳のメカニズムについてまで講義されました。

質問の書き方では、まず質問の効果について話があり、ただ単に執行機関に所信を質したり事実関係を明らかにするだけにとどまらず、執行機関の政治姿勢を明らかにし、また責任の所在をも明らかにさせ、結果として現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの効果を出す質問をしなければならないと、話をされその目的のための、効果的な論文的原稿の書き方、原稿を作る際の優先順位の考え方、理想的な質問の仕方にまで講義をされました。

政策提案質問の事例では、役所を動かすための必要なポイントとして、自分の経験だけの根拠に乏しい屁理屈ではなく、しっかりとした数字と事実の統計に基き質問作成を行うことの大切さや、質問作成までの基本手順、質問の取り扱われ方いいたるまで、講義を受けました。またケーススタディーとして、10事例を、質問の背景から一般質問にて提案協議し結果に至る経緯まで詳しく質問の練習をして、成功へのポイント、不成功になってしまうポイントなどを、講師、参加者みなで討論する講義でした。

今回受講させていただき、日々の議員活動で感じたことを、どの様な手法を持って質問にかえ、信頼される、安心でき、まごころを感じてもらえる、議員になれるかの基本を教えてくださいました。今回得たことを三田市のプラスになるよう、スピード感を持って取り組んでいかないと考えております。

以上

議員20年の経験から語る基礎講座

「キラリと光る質問原稿の書き方」

講師 宮本正一(日本公共経営研究所代表)